

2日 日曜

ペテロ I

1:10 この救いについては、あなたがたに対する恵みを預言した預言者たちも、熱心に尋ね求め、細かく調べました。

1:11 彼らは、自分たちのうちにおられるキリストの御霊が、キリストの苦難とそれに続く栄光を前もって証ししたときに、だれを、そしてどの時を指して言われたのかを調べたのです。

1:12 彼らは、自分たちのためではなく、あなたがたのために奉仕しているのだという啓示を受けました。そして彼らが調べたことが今や、天から遣わされた聖霊により福音を語った人々を通して、あなたがたに告げ知らされたのです。御使いたちもそれをはっきり見たいと願っています。

1:13 ですから、あなたがたは心を引き締め、身を慎み、イエス・キリストが現れるときに与えられる恵みを、ひたすら待ち望みなさい。

1:14 従順な子どもとなり、以前、無知であったときの欲望に従わず、

1:15 むしろ、あなたがたを召された聖なる方に倣い、あなたがた自身、生活のすべてにおいて聖なる者となりなさい。

1:16 「あなたがたは聖なる者でなければならない。わたしが聖だからである」と書いてあるからです。

1:17 また、人をそれぞれのわざにしたがって公平にさばかれる方を父と呼んでいるのなら、この世に寄留している時を、恐れつつ過ごしなさい。

1:18 ご存じのように、あなたがたが先祖伝来のむなしき生き方から贖い出されたのは、銀や金のような朽ちる物にはならず、



1:19 傷もなく汚れもない子羊のようなキリストの、尊い血によったのです。

1:20 キリストは、世界の基が据えられる前から知られていましたが、この終わりの時に、あなたがたのために現れてくださいました。

1:21 あなたがたは、キリストを死者の中からよみがえらせて栄光を与えられた神を、キリストによって信じる者です。ですから、あなたがたの信仰と希望は神にかかっています。

かつてイスラエルの預言者たちは救い主について預言しましたが、その預言がキリストすなわちイエス様によって成就したのだと、ペテロは明言します。それを見たいと願うことは自然なことですが、その鍵は生き方にあります。

13 節からあるように生きて、私たちがイエス様を目の当たりにしたいものです。「聖」というのは人間の力ではできないものです。私たちは聖霊によって変えられ、神様ののものであることによって、聖とされるのです。そして当然言動においても、何よりも動機において聖となってゆくのです。それは地上で完成されるものではありませんが、父を慕う子として未熟であるが、完全なのです。

私たちは神のものとなって、子として神様を慕い、聖なるものとなっていけることを信じましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

